

- (一) 英、米、蘭等ノ対日禁輸ニヨリ帝國ノ目存ヲ脅威セラレタル場合
- (二) 米国力単強若クハ英、蘭、支等ト協同シ帝國ニ対スル包圍態勢ヲ逐次加重シ帝國国防上忍ビ得サルニ至リタル場合
- 四 歐洲戰爭ニ於テ英本國ノ崩壞陸兵ト豫察セラルルニ至ラハ本施策特ニ対露印外交措置ヲ更ニ強化シ目的達成ニ努ム
- 五 帝國國內戰時体制ノ刷新ハ昭和十五年七月決定「基本國策要綱」ニ遵ヒ遅ニ實施スルモノトス
- 附一、佛印、泰ニ対スル施策ハ昭和十六年二月一日御親可ノ「対佛印、泰施策要綱」ニ掲ルモノトス
- 二 昭和十五年七月決定ノ「世界情勢ノ推移ニ伴フ時局延理要綱」中支那事變ノ延理未タ終ラサル場合ニ於ケル南方施策ニ關スル事項ハ本施策要綱ニ掲ルモノトス
- 三、支那事變延理完了セル場合、或ハ世界情勢著シク急變シタル場合ニ於ケル対南方施策ハ其ノ嚴重ニ別途決定セラルルモノトス

南方施策促進ニ關スル件

昭和十六年六月二十一日
大本營政府連絡會議決定
同日上海泰御親可

- 一、帝國ハ現下諸般ノ情勢ニ鑑ミ既定方針ニ準拠シテ対佛印泰施策ヲ促進ス特ニ蘭印派遣代表ノ播朝ニ關聯シ速ニ佛印ニ対シ東亞安定防衛ヲ目的トスル日佛印軍事の結合關係ヲ設定ス
- 佛印トノ軍事の結合關係設定ニ依リ帝國ノ把握スヘキ要件左ノ如シ
 - (イ) 佛印特定地域ニ於ケル航空基地及港灣施設ノ設定又ハ使用並南部佛印ニ於ケル所要軍隊ノ駐屯
 - (ロ) 帝國軍隊ノ駐屯ニ關スル便宜供与
- 二 前号ノ為外交交渉ヲ開始ス
- 三 佛國政府又ハ佛印当局者ニシテ我要求ニ応セサル場合ニハ武力ヲ以テ我力目的ヲ貫徹ス
- 四 前号ノ場合ニ延スル為豫メ軍隊派遣準備ニ着手ス